

70

th

ANNIVERSARY



2025.3.16

人と自然と響き合う みんなで迎えた西海国立公園指定70周年

3月16日（日）、「西海国立公園」が国立公園に指定されてから70年の節目を迎えました。記念すべき日に開催した記念キックオフイベントの様子をご紹介します。

西海国立公園を構成する関係6市町のうち4市町（佐世保市、五島市、西海市、小値賀町）で、清掃活動を行いました（平戸市、新上五島町は雨のため中止）。

国立公園の目的・役割である「今ある自然と感動を未来へと引き継ぐ」ため、地域の皆さんと協力し清掃活動を通じて改めて豊かな自然に感謝の意を表しました。

今回、未来と次世代をつなぐ「糸（意図）」となる意味合いを含め、「未来to次世代」をテーマに掲げてイベントを開催。人のつながりが地域全体へ広がり、総勢約350人（6企業、19団体）の皆さんに参加していただき、たくさんのごみを回収できました。

この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。

また、今回は「国立公園オフィシャルパートナー」（環境省）であるサントリーグループの皆さんにもご協力をいただきました。

同グループでは循環型社会の実現を目指し、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生する「ボトルtoボトル」水平リサイクルの取り組みに力を入れています。

この度、西海国立公園が節目の年を迎えると共に佐世保市と同協定を締結していたことがきっかけとなり、ご協力をいただきました。

県内では佐世保市以外にも大村市と同協定を締結されており、今回の取り組みを通して一人でも多くの方にご理解とご協力を求めるために連携する運びとなりました。

Next Page

佐世保市で開催！「グリーンDAY」と「みんなdeリサイクル教室」



グリーンDAY —未来to次世代—

「西海国立公園」の資源を未来へ つなぐ清掃活動

3月16日（日）9時、小雨降る中、西海国立公園指定70周年記念事業実行委員会の宮島実行委員長（佐世保市長）による開式の言葉とともに始まりました。

宮島実行委員長は、「『3月16日』という日が皆さんにとって記憶に残る一日となり、さらには次の世代を担う子どもたちにとっても誇りとなるように」と強い思いを述べました。

また、サントリーホールディングス（株）（サステナビリティ経営推進本部）橋本部長も、「今回の取り組みが今ある資源や西海国立公園の美しい景観と感動を、次の世代へと引き継いでいくきっかけになってほしい」と意気込みを語りました。

2日前まで雨予報でしたが、皆さんの思いが届き開催に至りました。中には前日「開催決定」の連絡を受けて「よかった」と安堵し、胸の躍らせ当日を迎えた参加者もいらっしゃいました。

清掃開始の合図とともに清掃道具を手にし、手慣れた様子でごみの回収に励む皆さん。市民の宝であり、誇りである「九十九島」をきれいにするため、九十九島パールシーリゾート周辺のごみを拾い集め、最終的には40袋（45ℓ）を回収しました。



自衛隊など市内6企業・17団体が参加

アルティウスリンク（株）、（株）シーヴィテック九州、（株）十八親和銀行、させぼパール・シー（株）、トランスコスモス（株）BPOC佐世保、パーソルビジネスプロセスデザイン（株）、（医）心々和会、海上自衛隊佐世保OB会、海上自衛隊佐世保先任海曹会、環境省九州地方環境事務所、九十九島の会、公明党、（公財）佐世保観光コンベンション協会、佐世保市議会議員、佐世保市役所、田山事務所、99長崎ライフセービングクラブ、長崎県、陸上自衛隊相浦駐屯地、Regalo Football Club など（敬称略）



幅広い世代で取り組むごみ拾い

トンゴとごみ袋片手にごみを探しまわる子どもたち。前日の雨で海岸には多くの枯れ葉が漂着していました。黙々と清掃する宮島市長の姿を見つけると、子どもたちが駆け寄り、一緒になってごみ拾いをしていました。

この日の最年少参加者は1歳。九十九島の雄大な景色を家族で眺めながら、笑顔で清掃を楽しんでいました。

今回幅広い世代の皆さんに参加していただき、いつもの清掃活動とはまた違ったにぎわいを見せ、参加者同士が交流を深める様子も伺えました。今回の取り組みが、これからも末永く引き継がれることを願っています。



「ボトル to ボトル」 水平リサイクル

参加者全員で取り組む「ボトル to ボトル」 水平リサイクル

3月16日（日）、「グリーンDAY」の一環でサントリーグループによる「ボトルtoボトル」水平リサイクルの実演が行われました。

「ボトルtoボトル」水平リサイクルとは、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生することです。「ボトルtoボトル」水平リサイクルにより、ペットボトルを資源として何度も循環でき、新規化石由来原料の使用量とCO2排出量の削減に寄与することが可能となりました。

2023（令和5）年2月1日には佐世保市と県内初となる協定を締結し、皆さんが資源物として排出されたペットボトルが「サントリー製飲料ペットボトル」として新たに再生されています。

今回イベントの開催に伴い、100%リサイクル素材を使用したペットボトル「サントリー GREEN DA・KA・RA やさしい麦茶」を使い、実際に分別方法の実演を行いました。ペットボトルの正しい分別方法を聞き、子どもたちは真剣な表情でペットボトルとキャップ、ラベルを分別しました。

また、清掃活動を終えた皆さんに、サントリーグループと市長から「おつかれさまでした」と労い言葉を添えて「やさしい麦茶」が提供されました。

晴れやかな表情で麦茶を味わい、飲み終えたペットボトルはさっそくりサイクルボックスに正しく分別され、皆さんと「ボトルtoボトル」水平リサイクルに取り組みました。

最後に参加者全員で集合写真を撮影し、「西海国立公園」の歴史に新たな1ページが加わりました。

集合写真





みんなdeリサイクル教室

身近なペットボトルを使って学ぶ「リサイクル」

同じく3月16日（日）、みんなdeリサイクル教室「リサイクルについて考えよう」と題し、地元小学生向けの出張教室が行われました。

未来を担う次世代の子どもたち。環境への意識を高め、地元に対する愛情を深めるきっかけになることを目的に、身近なペットボトルを使ってリサイクルについて学びました。

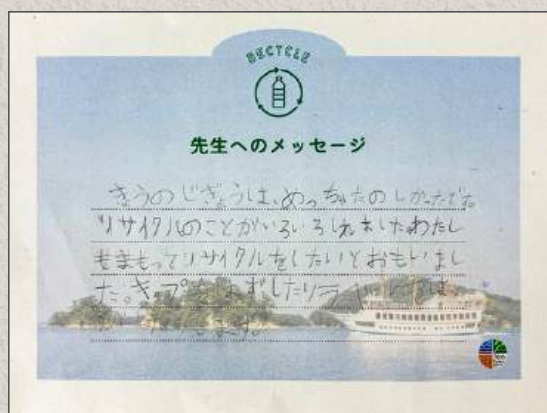
野牛(やぎゅう)あかねさんを先生に迎え、子どもたちと市長が一緒になって「自分たちが今できること」を考えました。

先生の説明に真剣に耳を傾け、まっすぐな視線を向ける子どもたち。先生からの質問に対し家族の皆さんと一緒に相談しながら、積極的に手を挙げ回答していました。

また、家庭でできるリサイクル「おこさまBINGO®-リサイクラー」を片手に市長が見守る中、日頃の環境にやさしい取り組みを振り返り、中には複数のBINGOを達成するご家庭も。子どもたちだけでなく家族の皆さんも目の色を輝かせながら、授業に夢中の様子でした。

最後は「1、2、(3) サントリー」の合図で記念撮影を行い、地元銘菓「九十九島せんべい」や「味カレー」「島姿」を受け取り、笑顔で会場を後にしました。

本市では西海国立公園指定70周年を契機に、誰もが喜び楽しんでいただける一年を目指しこれからも地域の皆さん、企業や団体の皆さんとともに地域を盛り上げてまいります。



子どもたちからのメッセージ

授業を終え、先生に寄せられたメッセージの中には「わかりやすくて楽しかった」「きちんと分別して、ごみを減らしたい」「家族全員で『ボトルtoボトル』に取り組んでいきたい」など、さまざまなコメントが寄せられました。

今回参加できなかった皆さんも、ぜひリサイクルにチャレンジしましょう。



西海国立公園指定70周年記念事業実行委員会
(佐世保市観光課)

<https://www.sasebo99.com/>

